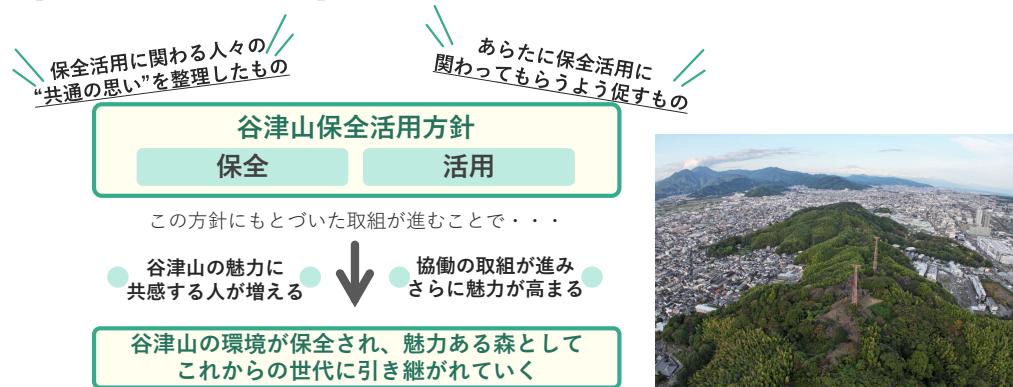


谷津山保全活用方針(案) 概要版1/2

1. 方針策定の目的

- 谷津山は身近に自然や歴史を楽しめる里山で、最近では東静岡駅周辺のまちづくりや谷津山でのハイキングイベント等を通じて、谷津山の保全や活用の機運が高まっています。
- これまで谷津山の保全や活用に関わってきた市民団体の人々とともに、谷津山の将来像や取組の方向性を検討し、谷津山保全活用方針(案)として取りまとめました。

【谷津山保全活用方針の役割】



2. 谷津山の現状と課題

- まちなかに近く、尾根沿いからの眺望が楽しめるとともに、古墳や寺社などの歴史資源も有しています。
- 一方で、お茶や果樹などの農地利用から次第に管理の手が入らない土地が増え、竹林が拡大しています。
- 細かく分かれた土地の大部分は民地（個人所有）であるため、保全や活用の手が届きにくい課題があります。



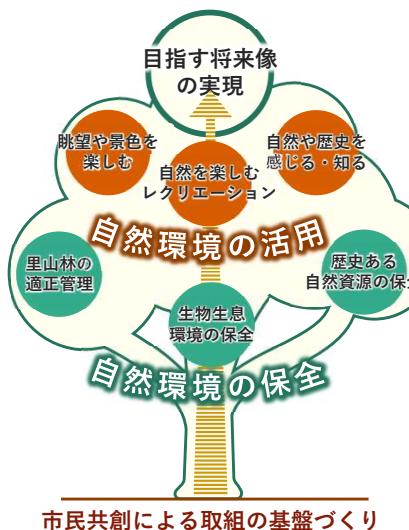
※2024年8月時点の登記簿情報より作成

3. 谷津山の保全と活用の考え方

- 自然環境を良好に保全するとともに、市民が身近に親しめる緑地として活用し、谷津山の魅力を高めます。
- 持続的に保全・活用が図られるよう、市民・事業者・行政等の共創の基盤をつくりながら取り組みます。

Point 保全の考え方

- ① 里山林の健全な管理と放任竹林対策の推進
- ② 身近な動植物の生息環境の保全
- ③ 歴史資源と一体となった自然環境の保全



Point 活用の考え方

- ① 地形を活かした眺望の確保
- ② 自然に親しみ散策や滞在を楽しむ環境づくり
- ③ 自然や歴史を体験・学ぶ場としての活用

4. 目指す将来像

- 谷津山の魅力である自然環境と人々の関わりによって形づくられてきた歴史に、気軽にふれることができるまちなかの森として保全活用していくことを目指し、将来像と基本方針を設定しました。



基本方針1 谷津山の自然や歴史を守り育てる

- 市民や地権者、企業等の協力を得ながら、放任竹林対策や森の再生などに取り組み、谷津山の自然環境と歴史資源を持続的に保全していきます。
- 自然や歴史を活かした体験や学びなどにより谷津山の魅力を官民共創で育みます。



基本方針2 みはらしスポットと登り口の魅力向上

- 頂上部の各公園を「みはらしスポット」とし、立地や地形を活かした眺望や気軽に自然に親しめる場として活用していきます。
- より谷津山に訪れやすくなるよう主な登り口の案内やアクセス環境を充実させます。

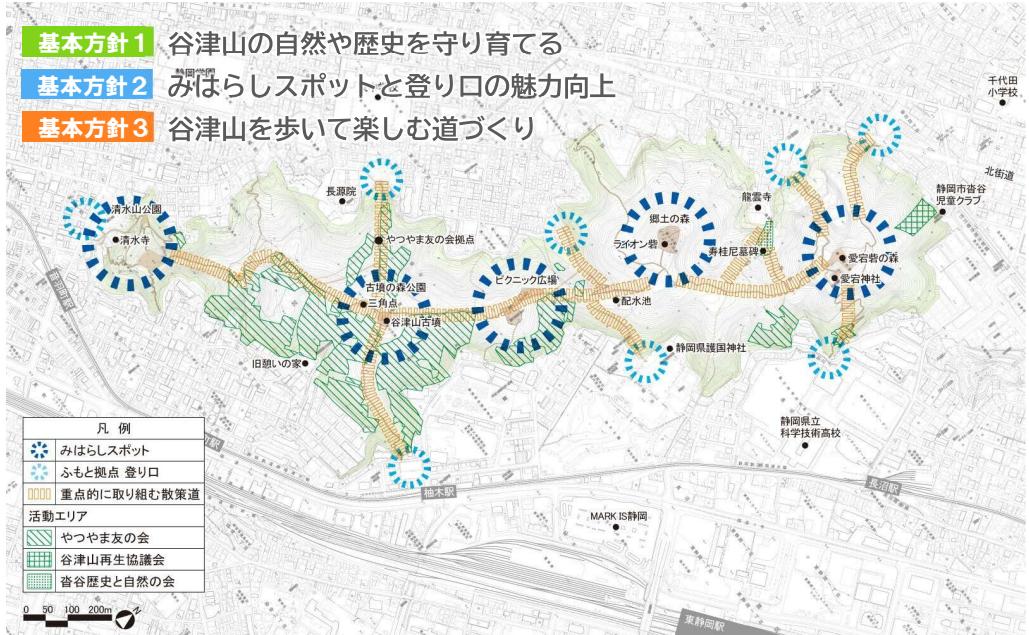
基本方針3 安心して歩いて楽しめる道づくり

- 地形や眺望の変化を活かして、歩くたびに楽しさを感じる散策環境を整えます。
- 迷うことなく安全に歩けるように、分かりやすく歩きやすい散策道を整備します。

谷津山保全活用方針(案) 概要版2/2

5. 重点的に取り組む区域

- 将来像を実現するために、既存公園や散策道周辺、市民団体の活動地などを「重点的に取り組む区域」として設定します。この区域を中心に、基本方針に沿って具体的な取組を市民共創で実施していきます。



基本方針2 みはらしスポットと登り口の魅力向上

取組① 眺望の確保

- 尾根部や都市公園となっている頂上部から、富士山など周辺の景観資源が見えるよう支障となる竹木を整えます。



取組② 自然を感じ、親しむことができる環境づくり

- ゆったりと過ごしながら眺望や散策を楽しめるようトイレや休憩施設等の設置を検討します。

取組③ 分かりやすくアクセスしやすい登り口

- 散策ルートの案内看板等を設置して登り口であることを分かりやすくするとともに、遠方から気軽に谷津山を訪れることができるよう駐車場等を確保します。



基本方針1 谷津山の自然や歴史を守り育てる

取組① 多様な主体が関われる取組や体制づくり

- 保全活動の新たな担い手を確保するとともに、学校や企業などが参加できる取組や体制を整えていきます。



取組② 学びや体験による保全活用の意識醸成

- 各団体の活動や市事業を通じて、谷津山の自然環境の現状や課題を体験・学習できる機会を設け、保全活用に対する理解を深めていきます。



取組③ 保全活用に関する地権者からの協力確保

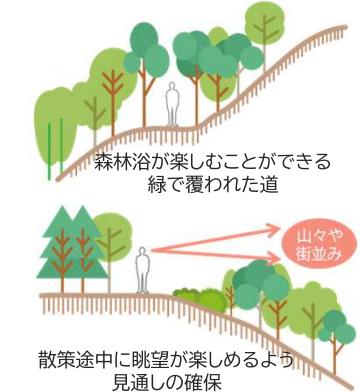
- 地権者への情報提供を行い、保全活用への協力や市民団体の活動への理解を促すことで、取組が展開可能な土地を拡げていきます。



基本方針3 谷津山を歩いて楽しむ道づくり

取組① 歩いて楽しい沿道景観の創出

- 地形や植生に応じて、視界の開ける場所や緑が覆い茂る場所など、多様な自然環境の姿を歩きながら楽しめるよう沿道景観を整えます。



取組② 安全で歩きやすい道の整備

- 道幅がせまく、急傾斜地である場所では、利用者の安全を確保できるよう散策路の幅員確保や転落防止対策に取り組みます。



取組③ 安心して楽しめる案内サインの充実

- 谷津山の魅力や自然環境を解説する案内サインや、利用者が安心して散策できるようルート案内板を充実させます。